

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズサポートセンターMOKSHA		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 4日		2026年 2月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3 (回答者数)	2
○従業者評価実施期間	2026年 2月 4日		2026年 2月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アセスメントから計画、実施、振り返りまで一貫した支援体制が確立されている。今後はケース蓄積と分析を進め、支援モデルの体系化と専門性の高度化が期待される。	支援前後の打合せを徹底し、支援内容・役割分担の明確化を図っている。	家族支援プログラム（ペアレントトレーニング・保護者会）を定期開催し、家庭支援機能の強化を図る。
2	職員間の連携体制が非常に高く、支援前後の打合せや情報共有が徹底されている。今後は標準化・マニュアル化により再現性の高い支援体制構築が可能である。	フォーマル・インフォーマル双方のアセスメントを活用し、多角的に子どもを理解している。	保育所・幼稚園等との交流機会を創出し、インクルージョン推進と地域連携を強化する。
3	安全管理・BCP・マニュアル整備が充実しており、安定した運営基盤が構築されている。今後は保護者への見える化により安心感のさらなる向上が期待される。	活動プログラムの固定化を防ぎ、柔軟な支援展開を意識している。	職員の経験・役割に応じた研修体系を整備し、専門性の底上げを図る。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラムや保護者同士の交流機会が未実施であり、家庭支援機能が不足している。	開設初期段階であり、人員・時間的リソースが限られ、支援体制構築が優先され家族支援や地域活動の企画が後回しになっていた。	年間計画に家族援・地域連携を明確に位置付け、計画的に実施する体制を整備するとともに保護者会・研修・交流イベントを開催し、家庭支援と保護者同士の繋がりを促進する。
2	保育所・幼稚園等との交流が未実施であり、地域との関係構築が不十分である。	他放課後等デイサービスとの連携構築は出来たが、保育園・こども園・幼稚園等の地域連携に関するネットワークや導線が未整備である	地域機関（保育園・こども園・幼稚園・自治体等）との連携ルートを構築し、交流機会を段階的に拡大する。
3	第三者評価未実施により、客観的評価の機会が不足している。	開設初期段階であり、人員・時間的リソースが限られ、支援体制構築が優先され第三者機関への相談や評価実施等のネットワークや導線が未整備である。	第三者評価の実施と評価結果をもとにした改善会議を定期開催し、PDCAサイクルを強化する。 研修体系をレベル別・職種別に整理し、組織的な人材育成と支援の質向上を図る。